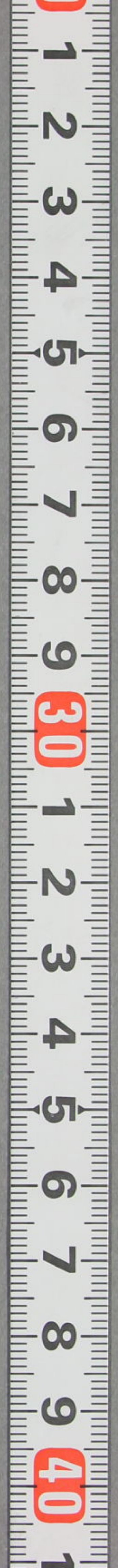


三編上

〜 13
3706
5

針題曲



門へ13
 3706
 卷5

薄葉

おがわ

五月

り花

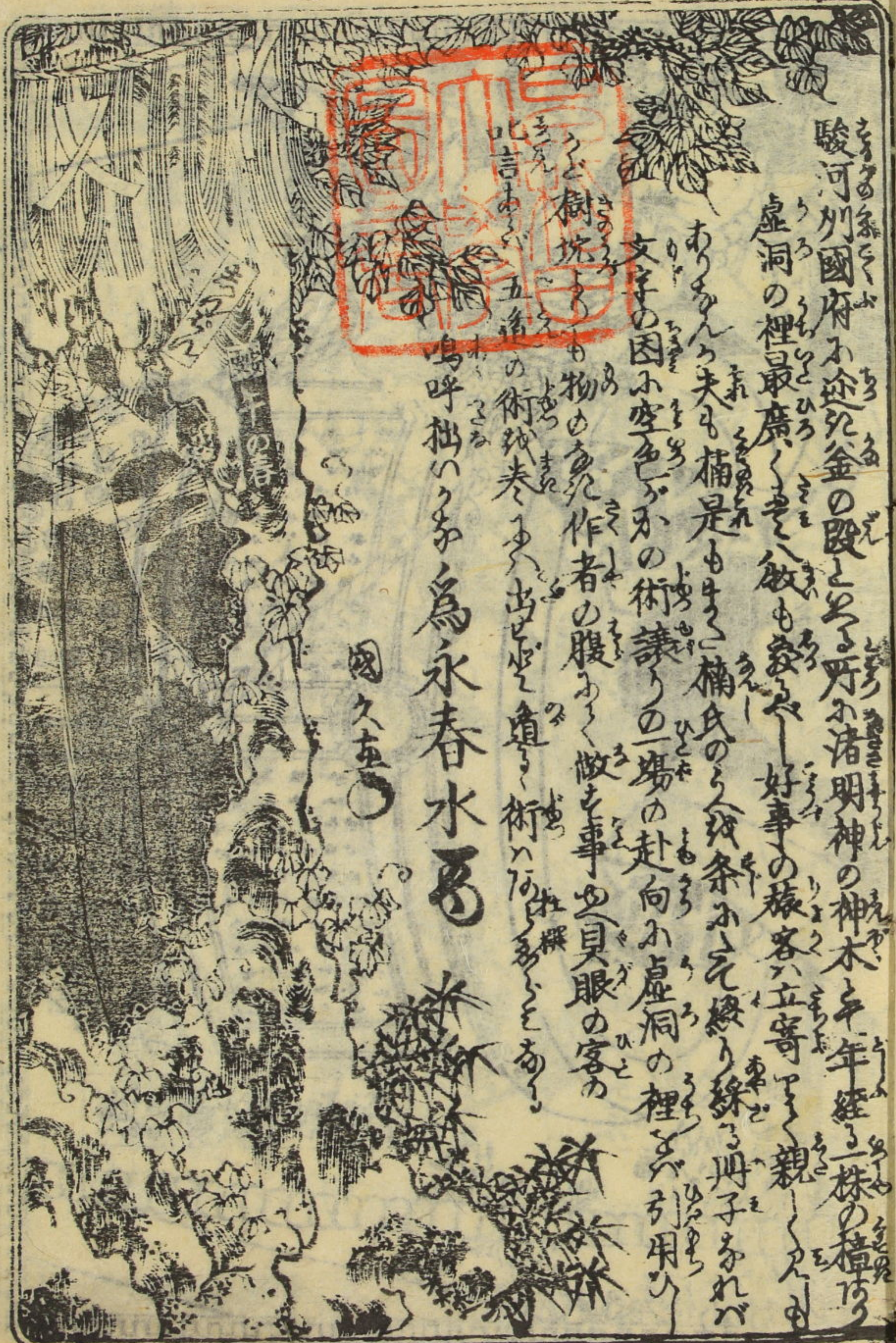
園の

上の

水



十一



駿河州國府不途死金の段とある野の清明神の神木と年経一株の樟の

虚河の裡最廣くそむ教も教も好事の旅客立寄り親くたむ

ありん夫も楠是もまの楠氏のら我糸ふえ終り縁の冊子あれば

文字の因小空色か不の術譲りの一場の赴向の虚洞の裡を引用ひ

樹塚も物のある作者の腹あけ做を事也貝眼の客の

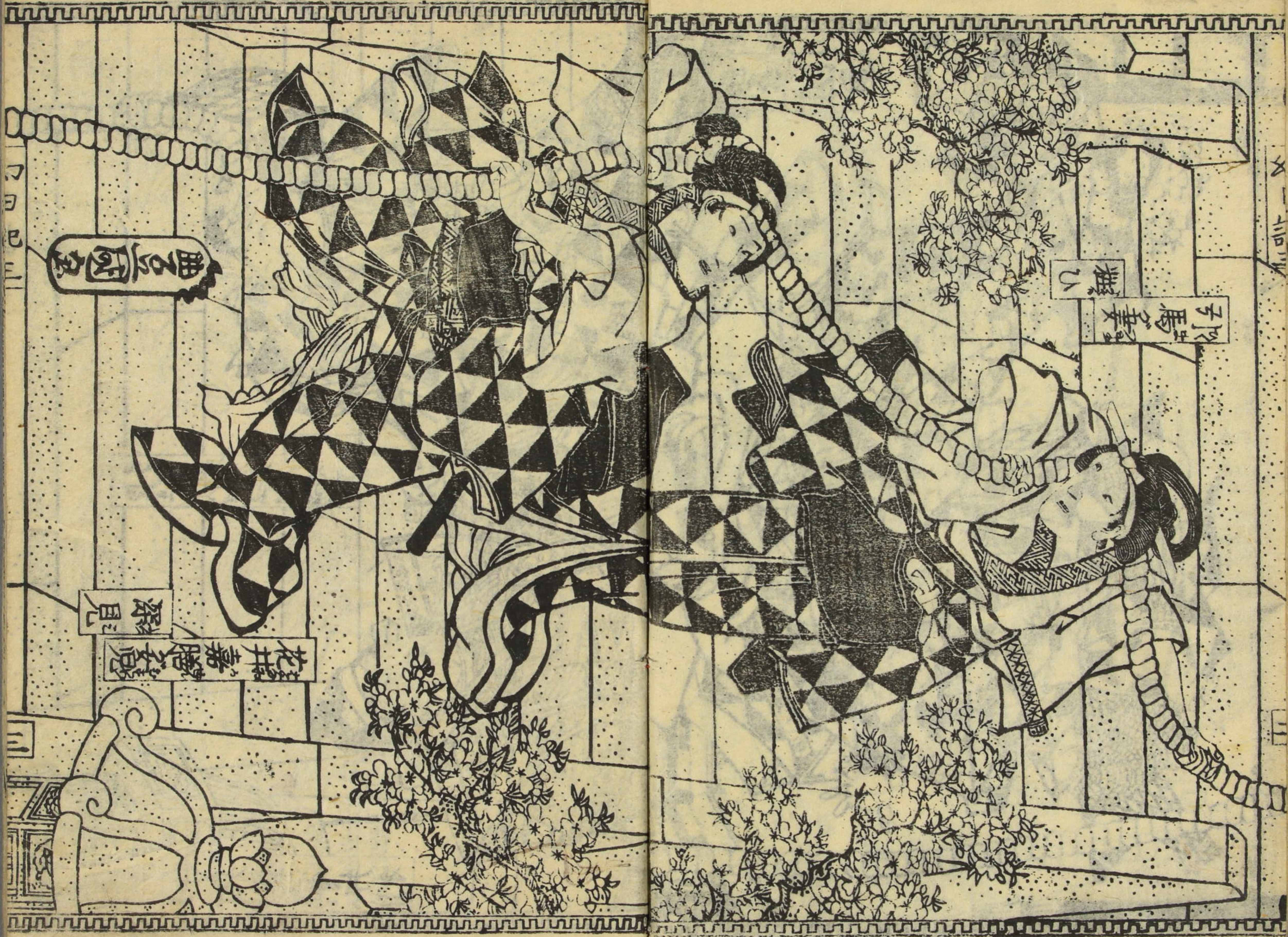
此言あひ五道の術成巻ふ出せ道術の術の多とある

嗚呼拙いふ多為永春水馬

國久左



廣名樓大紅武連



御心匠

深見

花井嘉禮

櫻川

引馬

八

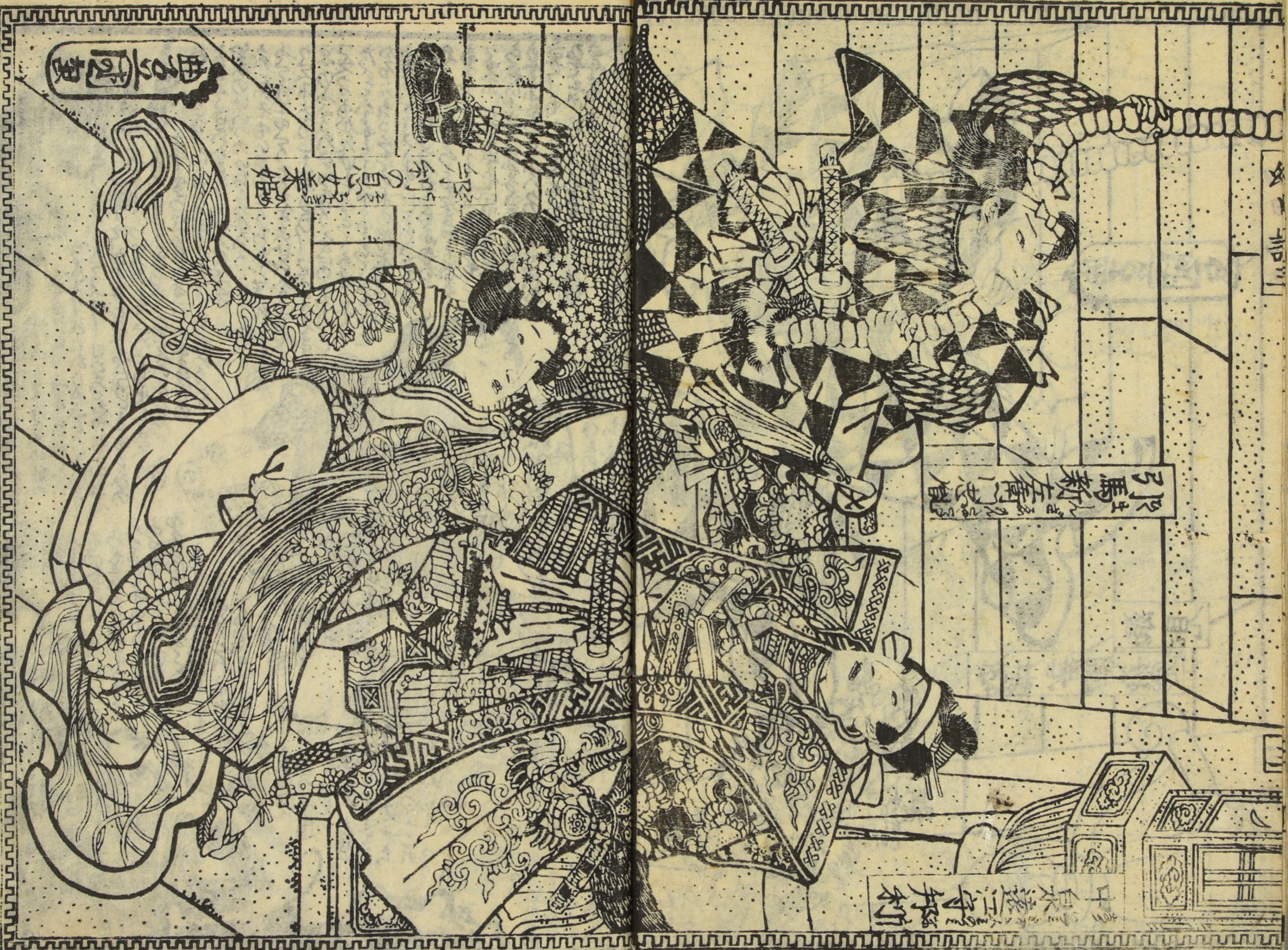
女 千代

引馬 新左衛門 志保

中泉 遠三守 邦初

衆 御 女 兼 越

曲 心 氏 殿



17

17



浪高き海に

舟のりて

舟

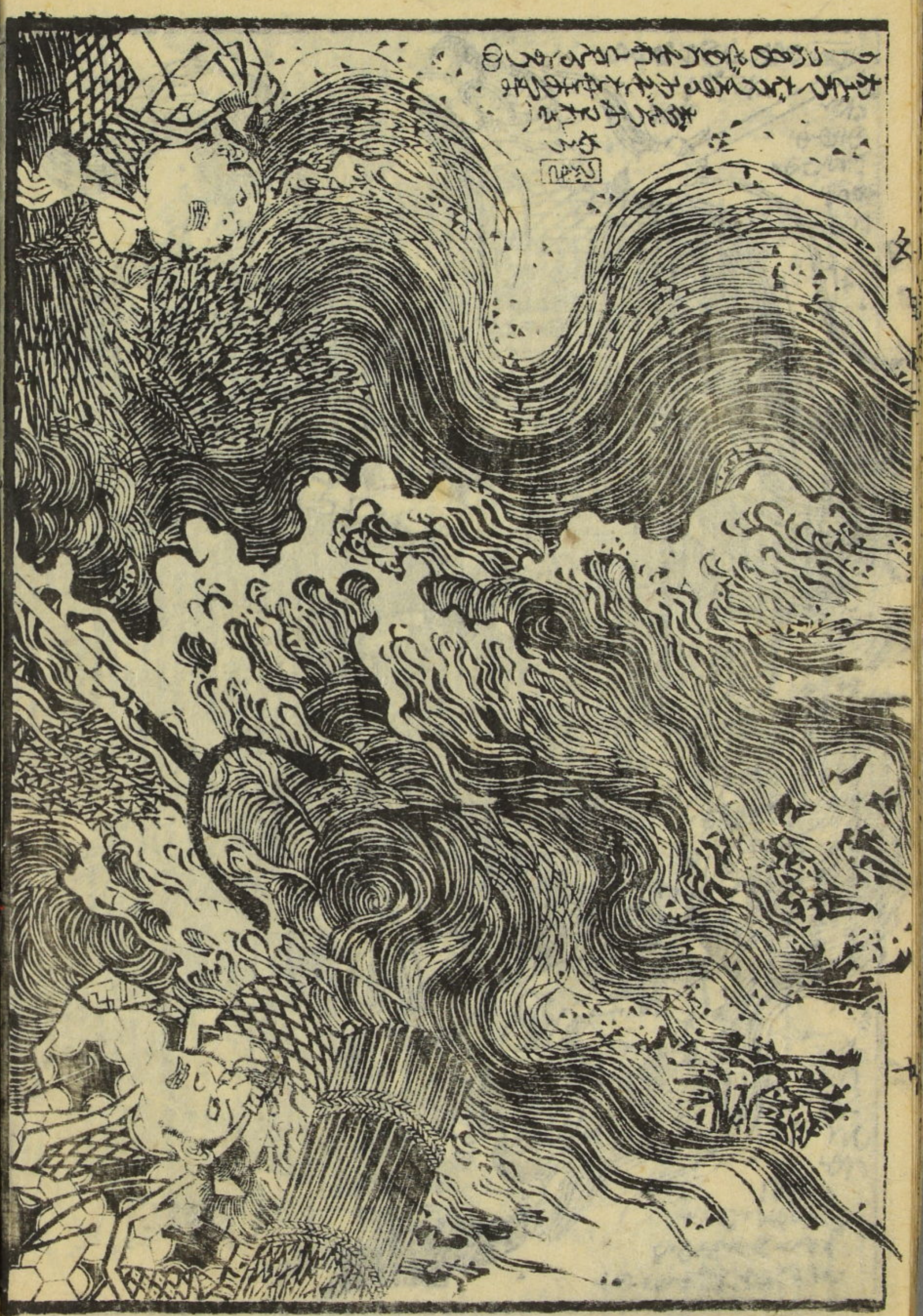
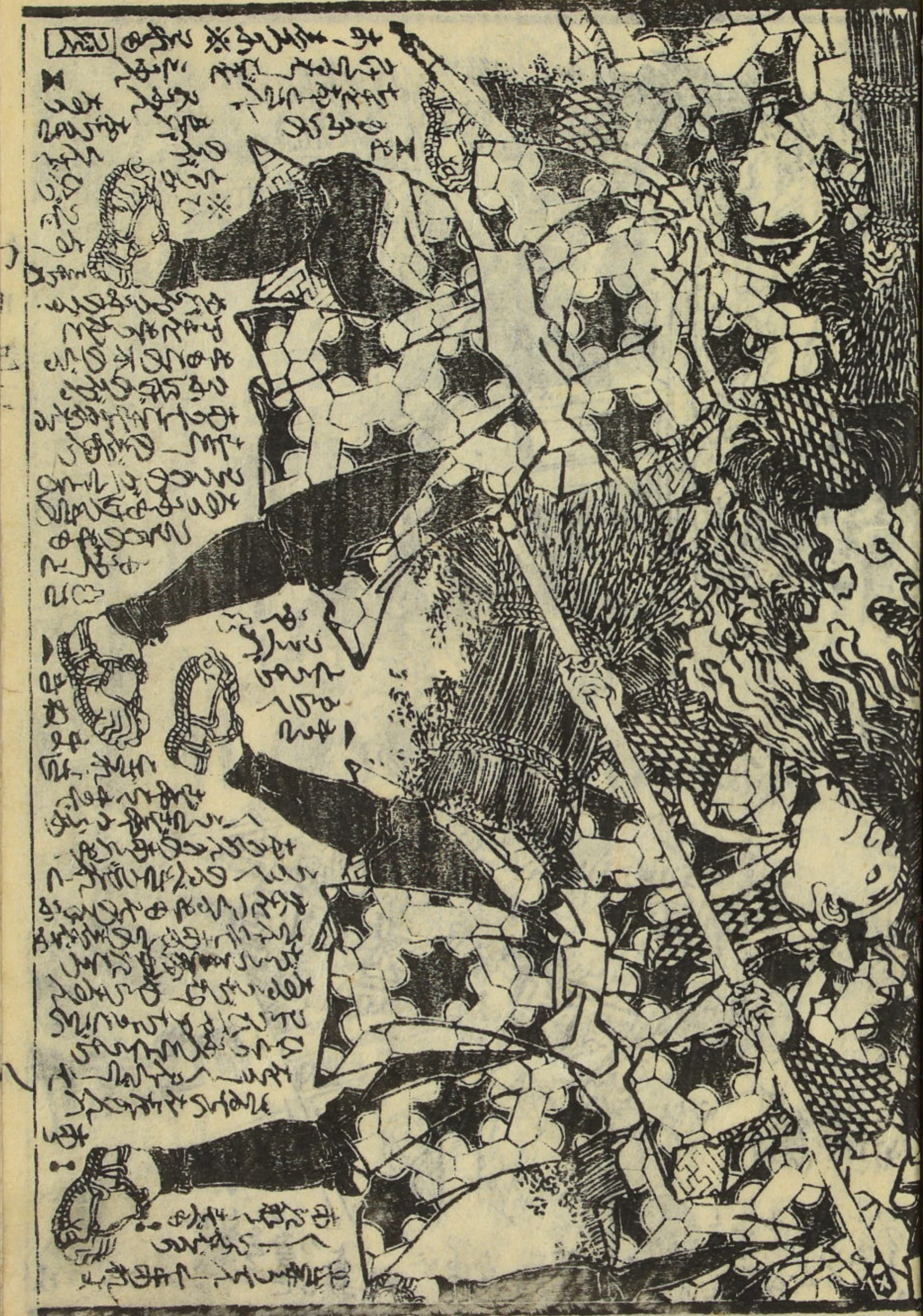
舟のりて
浪高き海に



浪高き海に
舟のりて
舟

舟のりて

舟





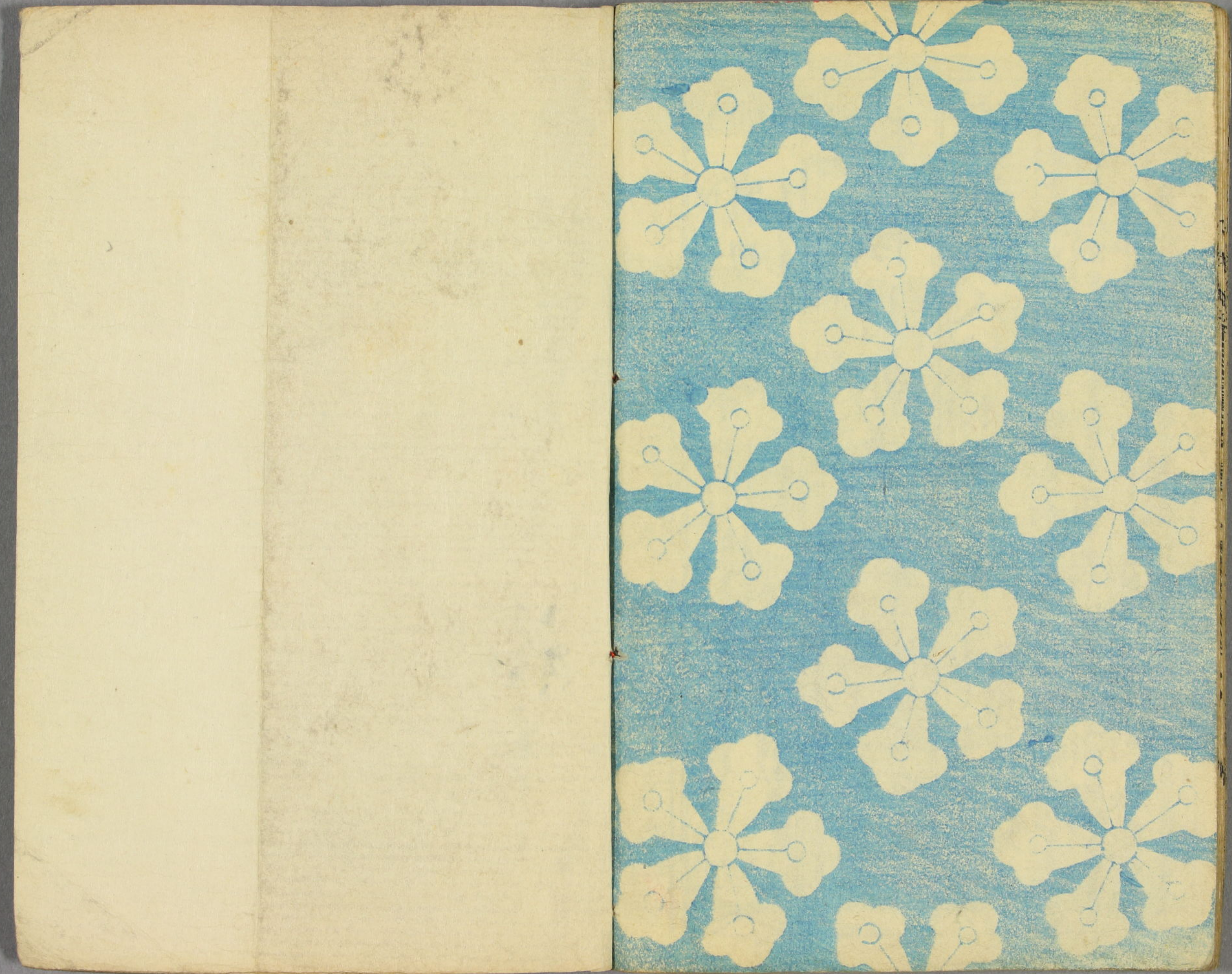
春水作國貞画

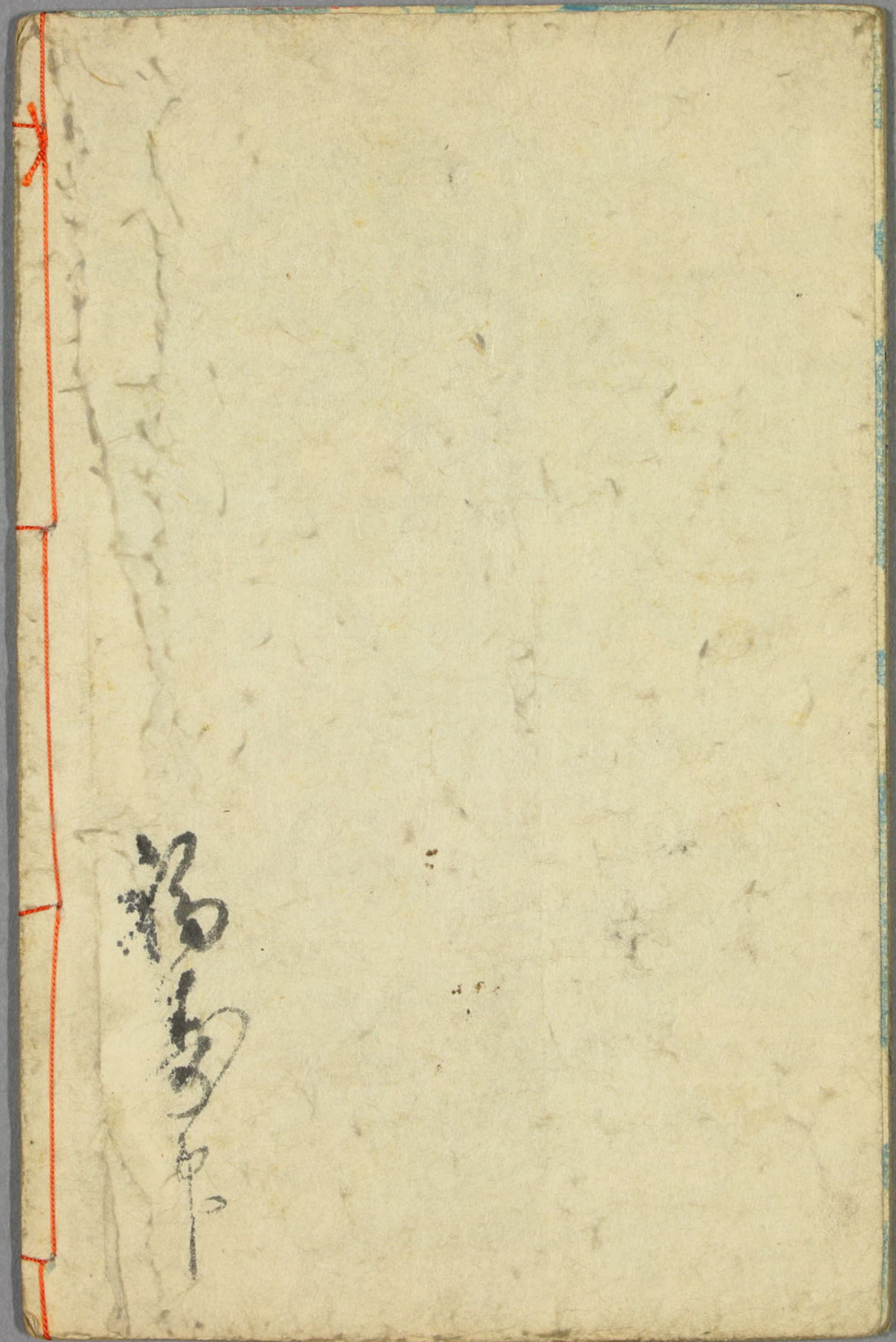
大家
實母散
此方丈の...
一葉堂老輔製

柳蔭月朝妻
山々亭有人作
此編述梅州樓國貞画

藪黃鸝八幡不知
山々亭有人作
錦州樓芳希画

當春賣出...
黄明...
...





福壽